

# 広袴便り

広袴町内会  
会報第8号

発行日  
平成18年6月28日

発行所  
東京都町田市  
広袴町町内会

発行人  
吉川俊雄

平成18年度

町内会会報誌発行にあたり

広報部部长 松田 清貴

町内会の会報誌「広袴便り」も平成15年の夏の創刊号より、今回で第8号となりました。町内会の様々な活動報告を年間2回乃至3回の発行を目指して編集作業に取り組んでいます。編集委員は町内会員の委員及び班長から数名が選ばれ、他に自発的に会報誌作りに参加されている会員の協力を得て運営されております。会報誌が出来上がるまでの工程は、構成内容・記事の検討を十分に繰り返し、全体のページ数や写真・カットの選択配置を決めます。依頼した原稿や編集委員自らの原稿執筆の字数をカウントしながらページへの割付け、校正刷りと進め、最終的な印刷に移り、皆様のポストへの各戸配布となります。

紙面作りには度重なる議論や提案が欠かせません。又町内会員皆様のご要望やご意見を遠慮なくお聴かせ下さい。素人集団ではございますが、熱意だけは他のいかなるものにも負けない覚悟でおります。今年度も「広袴便り」へのご協力の程宜しくお願い申し上げます。



(カット 谷岡克昭)



(新しい消防ポンプ自動車と団員の皆さん)

## 消防団の活動紹介

町田市消防団第三分団第七部

部長 佐藤 登

私達町田市消防団第三分団第七部団員(部長以下16名)は本業を持ちながら消防、防災に関する知識や技術を習得し、火災発生時における消火活動、風水害といった災害発生時における警戒巡視、平常時においても毎月の詰所、消防ポンプ自動車の点検、消防団の訓練、演習、防災訓練、特別警戒、火災予防の広報、第七部の受持地区(広袴町内会、鶴川5丁目町内会、鶴川6丁目団地、鶴川5丁目団地、鶴川北町内会、フレックスタウン、12自治会)の消火栓点検、各受持地区の行事の警備等に日夜活動しております。

また本年度も6月25日(日)に行なわれる、町田市消防団第三分団操法大会のため団員一丸となり良い成績が残せるよう早朝、夜間に日々練習に励んでおります。

また昨年12月第三分団第七部に新たに水槽付き消防ポンプ自動車(900リットル)の水を常時積み、初期消火活動の他、災害時における飲料水の確保もできるようになっております。

今後も地域住民の安全な街づくりのために努力していきたく思っていますので消防団活動にご理解、ご協力をお願いいたします。

第三分団第七部では消防団員(18歳以上、健康な方)を募集しております。地域住民の生命、財産を守るため是非一緒に活動しませんか。興味ある方は部長までご連絡下さい。

### 平成18年度定期総会開催

平成18年度定期総会が4月16日午後2時より広袴会館にて92名の出席者と484名の委任状、計576名の有効出席数により成立を確認の上、開催されました。各種団体の方々にもご参加頂いて、廊下にも人があふれるほどでした。

議事は議長に選出された12組の徳川氏によって進められました。

17年度会務及び事業報告・決算報告・18年度の事業計画・予算について、会長、副会長、会計により説明があり、承認されました。

部会報告は、各部長より報告がされました。今年度は広袴会館の利用実績・決算報告・18年度予算について、会館管理運営委員会より報告がありました。

18年度は、町内会長、副会長、会計、書記の4役及び各組の委員長が2年任期の2年目を迎えられ、各組各班長が新しく就任されました。

総会は2時間程で閉会されました。その間、出席者より、活発な意見、質問が多数出されていました。皆様、自分達の町内の事をよく知りたいたい、もっとよくしていきたいという思いからだと思います。

今後の検討事項もあり、今年度は昨年以上に活動が期待されそうです。

(百瀬千弥子)



### [平成17年度 広袴町内会 会計報告書]

一般収支報告書(自平成17年4月1日~至平成18年3月31日)(単位:円)

項目	予算	決算	増減	摘要
町内会費	2,200,000	2,247,200	47,200	550件×¥4000+新規加入29名 ¥47200
市助成金	122,000	122,000	0	
自主防災助成金	48,750	48,750	0	
社協活動費	2,000	0	-2,000	
会館賃貸料	10,000	0	-10,000	
盆踊り	700,000	913,380	213,380	ご祝儀¥723000、出店売上¥190380
簡保活動費	332,299	398,192	65,893	簡易保険加入者協会
雑収入	10,000	273,562	263,562	前年度建設委員会立替返金¥242610
前年度繰越金	2,016,972	2,016,972	0	
計	5,442,021	6,020,056	578,035	
助成金				
消防団	180,000	180,000	0	
広楽会	30,000	30,000	0	
敬老費	20,000	20,000	0	
子供会	30,000	30,000	0	
消防後援会	30,000	30,000	0	
青少年健全育成	30,000	30,000	0	
募金	120,000	120,000	0	鶴2小運営委¥5000、地区対助成金¥250000
連合会費	13,000	13,000	0	日赤、社協、赤い羽根、農太助け会
体育祭費	150,000	140,685	-9,315	(鶴連¥9,000 市連¥4,000)
防災費	200,000	186,014	-13,986	防災パトロール胸章 ¥10000
運営費				
会館維持費	700,000	558,747	-141,253	地代20万、新会館運営引当金10万、固定資産税2.1万、火災共済3.1万、電気、水道、電話
事務消耗品費	30,000	9,029	-20,971	
印刷広報費	280,000	231,416	-48,584	広袴便り夏、冬号
雑費	30,000	9,743	-20,257	とんと焼、新年会補助
交際費	280,000	188,000	-92,000	鶴連、市連研修費、各種団体誌、小中学校関係
総会費	80,000	74,690	-5,310	総会資料費
委員会費	80,000	32,049	-47,951	
盆踊り	900,000	842,606	-57,394	
備品費	200,000	91,033	-108,967	清掃用具、放送機器
慶弔費	80,000	53,000	-27,000	弔慰金 7件
予備費	979,021	374,816	-604,205	消防団ポンプ入機式費用 30万
会館引当金	1,000,000	1,000,000	0	会館建設資金
町内会定期預金	0	1,000,000	1,000,000	JA定期
次期繰越金	0	775,228	775,228	
計	5,442,021	6,020,056	578,035	

諸積立金(平成18年3月31日現在)

現金 30,065円

町内会預金(農協) 745,163円

定期預金(農協) 1,000,000円 H18.3.20~H19.3.20年利0.03自動更新

上記のとおりご報告致します。平成18年3月31日 会計 吉川考太郎◎

監査の結果適正と認めます。平成18年4月01日 監査人 小林豊◎

監査人 大久保和彦◎

### [平成18年度 広袴町内会 一般会計予算]

(自平成18年4月1日~至平成19年3月31日)(単位:円)

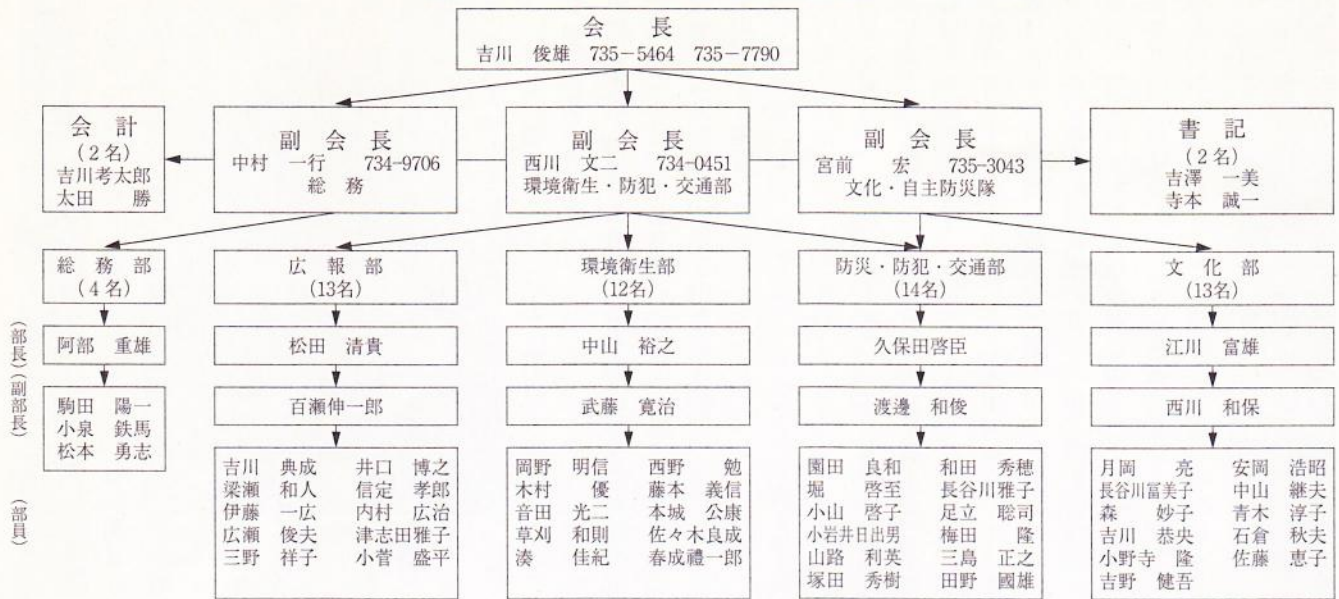
項目	予算案	17年度決算額	比較増減	摘要
前年度繰越金	775,228	2,016,972	-1,241,744	
町内会費	2,316,000	2,247,200	68,800	¥4,000×579件
市助成金	127,800	122,000	5,800	¥200×579件+¥12,000
自主防災助成金	50,635	48,750	1,885	¥65×579件+¥13,000
社協活動費	2,000	0	2,000	
盆踊り	800,000	913,380	-113,380	
簡保活動費	350,000	398,192	-48,192	
雑収入	10,000	273,562	-263,562	
計	4,431,663	6,020,056	-1,588,393	
支出				
消防団	200,000	180,000	20,000	会館前年度使用実績により加算
広楽会	60,000	30,000	30,000	会館前年度使用実績により加算
敬老費	20,000	20,000	0	
子供会	60,000	30,000	30,000	会館前年度使用実績により加算
消防後援会	40,000	30,000	10,000	会館前年度使用実績により加算
青少年健全育成	60,000	30,000	30,000	学区変更により第2、第3地対費
募金	120,000	120,000	0	
連合会費	16,000	13,000	3,000	市連¥7000、鶴連¥9000
体育祭費	200,000	140,685	59,315	
防災費	200,000	186,014	13,986	
運営費				
会館維持管理費	800,000	558,747	241,253	会館運営委員会の引当金
事務消耗品費	30,000	9,029	20,971	
印刷・広報費	300,000	231,416	68,584	
雑費	30,000	9,743	20,257	
交際費	280,000	188,000	92,000	
総会費	80,000	74,690	5,310	
委員会費	80,000	32,049	47,951	
盆踊り	900,000	842,606	57,394	
備品費	200,000	91,033	108,967	
慶弔費	80,000	53,000	27,000	
予備費	675,663	374,816	300,847	
会館引当金	0	1,000,000	-1,000,000	
定期預金	0	1,000,000	-1,000,000	
次期繰越金	0	775,228	-775,228	
計	4,431,663	6,020,056	-1,588,393	

定期預金(農協)

1,000,000

H18.3.30~H19.3.20年利0.03自動更新

## 広袴町内会 各部会組織図 (平成18年度)



## 平成18年度 広袴町内会 役員名簿

役職名	氏名	役職名	氏名	役職名	氏名	役職名	氏名
相談役	吉川 和志	委員 8組	吉川考太郎	班長 3-C	和田 秀穂	班長 12-A	信定 孝郎
会長	吉川 俊雄	委員 9組	西川 和保	班長 4-A	月岡 亮	班長 12-B	草刈 和則
副会長	中村 一行	委員 10組	小泉 鉄馬	班長 4-B	安岡 浩昭	班長 12-C	足立 聡司
副会長	西川 文二	委員 11組	久保田啓臣	班長 5-A	堀 啓至	班長 12-D	小岩井日出男
副会長	宮前 宏	委員 12組	百瀬伸一郎	班長 5-B	藤本 義信	班長 13-A	伊藤 一広
会計	吉川考太郎	委員 13組	武藤 寛治	班長 6-A	長谷川 威勇	班長 13-B	佐々木 良成
書記	吉澤 一美	委員 14組	松本 勇志	班長 7-A	中山 継夫	班長 13-C	湊 佳紀
会計監査	小林 豊	委員 15組	吉澤 一美	班長 8-A	森 妙子	班長 14-A	三島 正之
会計監査	大久保和彦	委員 16組	江川 富雄	班長 9-A	青木 淳子	班長 14-B	内村 広治
委員 1組	寺本 誠一	班長 1-A	田野 國雄	班長 9-B	音田 光二	班長 14-C	小野 寺隆
委員 2組	中山 裕之	班長 2-A	吉川 典成	班長 10-A	長谷川 雅子	班長 15-A	山路 利英
委員 3組	渡邊 和俊	班長 2-B	岡野 明信	班長 10-B	梁瀬 和人	班長 15-B	佐藤 恵子
委員 4組	太田 勝	班長 2-C	西野 勉	班長 10-C	吉川 恭央	班長 15-C	吉野 健吾
委員 5組	駒田 陽一	班長 2-D	木村 優	班長 11-A	本城 公康	班長 16-A	梅田 隆
委員 6組	松田 清貴	班長 3-A	園田 良和	班長 11-B	石倉 秋夫	班長 16-B	塚田 秀樹
委員 7組	阿部 重雄	班長 3-B	井口 博之	班長 11-C	小山 啓子	班長 16-C	春成 禮一郎

### 〈平成18年度事業計画〉

- 1 各種福祉募金活動  
日赤 社協 赤い羽根 歳末助け合い
- 2 自主消防及び災害対策の推進  
消防署 消防団第七部との連携を図り防火、防災訓練の実施
- 3 青少年対策への協力  
二小 小三 二中 青少年第二第三地区対子供110番 地域と子供会の連携支援
- 4 町内各種団体の育成強化  
消防団 広楽会 子供会 後援会等、相互の協力
- 5 防犯、交通事故防止活動の展開  
警察署 駐在所 町田市との連携 防犯の集い 防犯灯増設 パトロール等 安全 安心 町づくり
- 6 環境衛生活動の推進  
ゴミ減量 不法投棄 犬の糞始末対策 環境美化を図る
- 7 町内会館建設への推進  
利用活性化の推進を図る 維持管理、大掃除 年2回実施

## 広袴は海だった？

「広袴は昔海だった！」ことを知っておられる方も多いでしょ。でも新しく来られた方達には初耳かも知れませんか。もっとも、海だったのは広袴だけではなく、関東平野全体が海だった時代があったし、もっと太古には日本列島だって、海の底だったでしょうから、そのこと自体珍しいことではないでしょう。

広袴鶴川台の一带は、かつて真光寺川に落ち込むんだらかな丘陵地だったようです。その辺りは、牛頭天王を祀る天王社の祠があつて天王山と呼ばれたようです。牛頭天王はもととはインドあたりの厄除けの神、あるいは薬師如来の垂迹（*すゑあと*）（仏が仮の姿で現れること）ともいわれます。

昭和34年頃から、この天王山一帯を削って大量の山砂が運び出され、東名高速道路等の工事に使われたようです。大量の山砂が運び出された結果、片平との境が断崖となり地層が露出しました。

30年ほど前、この地層を調べていた人と知り合い、いろいろと教えてもらいました。

白黒写真では、分かりにくいのですが写真1の最上層（写真1のA部分）には腐食質を含む黒土が、その下はローム層という赤土の層です。赤土は火山灰が積もったものですが、その元になる火山は様々です。火山灰に含まれる鉱物を顕微鏡で観察すると、富士山の灰であるか、箱根山の噴出物であるか、あるいは日光方面からの火山灰であるか分かるようです。遠く九州からの火山灰が見つかることもあるそうです。火山灰が堆積した時代は、およそ1万年から5万年前という長い時代にわたっています。（写真1のBCD部分）

さて「広袴は海だった」証拠は、そのローム層より下の層にありました。陸地から海の中に流れ込んで堆

積する土砂は、気候の変動による海面が上昇すれば細かくなり、下降すれば流れが速くなって粗い砂になります。細砂と粗砂の間には境目ができるため地層となり、明瞭に区別できる層毎にそれぞれ名前が付けられているようです。広袴に見られるのは、連光寺層と呼ばれる、厚さは、場所によって違いますが数十メートルから七十メートルくらいようです。同じ地層は鶴川台の宅地造成工事でも露出しましたし、真光寺川の河床にも見られます。この連光寺層の中に、昔の海に棲んでいた貝の化石層がありました。「昔は海だった」という確かな証拠は、この化石の存在です。かつて子供達は、ここを化石山と呼んで、休みの日には、化石を掘る光景を見かけたものです。化石にはフスマガイとかトウキョウホタテガイ、マガキ、その他多くの海棲貝が含まれていて、その年代は今から約150万年くらい前と、専門家によって特定されています。残念なことにはこの化石は、岩石化したものではなく、砂岩であるため脆く風化しやすいものでした。

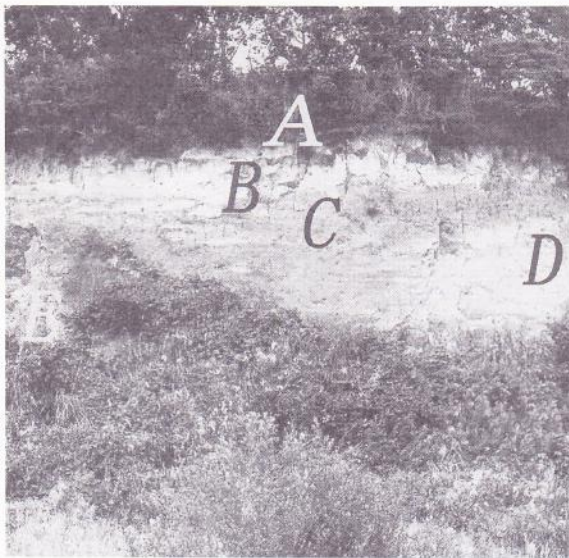


写真1 かつての化石山



写真2

現在、この断崖は、盛り土されたり、コンクリートの擁壁がつくられ、ローム層や貝の地層は見えなくなりました。

いま、瀟洒な住宅が立ち並ぶ広袴の約百万年前を想像してみるのも、楽しいことではないでしょうか。

### 写真1の説明

- A 黒土層（火山灰を含む）約一万年より現代
- B 立川ローム層 約三万年〜一万年
- C 武蔵野ローム層 約五万年〜三万年前
- D 東京軽石層 約五万年前、箱根山の大爆発による
- E 連光寺層（貝化石層を含む）Eの左下あたり

### 写真2の説明

鶴川台の宅地造成で露出した連光寺層。上部の建物は桐光学園校舎。斜面右手は現在の鶴川三丁目。左手は真光寺二丁目となる。（広瀬俊雄）

# 広袴公園の記念樹（八重桜） について考えること

広袴公園の記念樹の「さくら」が咲きます。3本の八重桜はシンボルとして大きく成長しました。平成14年3月17日に町内会の尊い会費で植樹したモニユメントとして記念植樹祭を実施しました。実現までの様々な事も思い起こされ発起人の一人としてひとしおの感があります。

現在、広袴公園を中心にせせらぎ緑道に沿う新しい自然環境によりそう街として成長して5年目となります。広袴2丁目の世帯数42、人口総数1146名、広袴3丁目の世帯数53、人口総数1588名、広袴4丁目の世帯数28、人口総数91名となっています。（4月1日現在）

広袴の公共施設が拡充されて社会福祉法人明社会、東平ひまわり保育園（園長吉川和男氏）、広袴会館があります。ますます発展しています。広袴会館は貸しホールとして市民に開かれた場として地域の大きな期待に応えていくと思います。



八重桜公園に来る子どもたちが大人になる頃桜はどれほど大きく育っているでしょうか？

ところで広袴の新しい街作りの中で新しい仲間として力を合わせる人達を知っておきたいと思うのです。広袴公園とせせらぎ緑道を守り育てようと3年6カ月

が経過し山本隆治会長はじめ役員は広袴公園緑地協力員とし登録して私も努力してきました。八重桜よ育てよと毎月仲間のみんなは、より公共の為と勇気をだして頑張っています。広袴町内会との関係は町内会関連自治団体の一つということになります。公園の鍵の管理も町謝の気持ちで一杯です。公園のトイレの鍵の管理も町田市シルバー人材センター（鶴川地区担当次長天野美佐子氏）会員吉川市郎氏他10名のメンバーで管理しています。多目的広場利用者については怪我のないよう

注意して見守っています。これまでの町内会活動は盆踊りと運動会、どんど焼き等で人と人との交流を図っていました。仕事中心の人間関係から新しい人間信頼関係を構築することが求められていると思います。私はボランティア活動が好きです。人は安心と安全と平和を作るために行動するものと決めています。

——「町田市における自治基本条例」の答申について考えたいと思います——

目を転じて町田市の動きを見ますと町内会活動についてこう述べています。

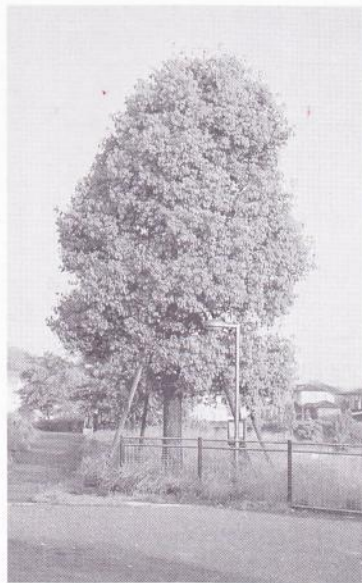
公共を担う組織としての主体性が弱体化している自治会、町内会等はその地域社会の役割が見直されなければなりません。消防団、老人会、子供会等の組織も今必要性が再認識されている、としています。

信頼関係を作る時、挨拶一つで笑顔が二つと鶴川第二小学校副校長の吉田富雄さんは対話の中で語っていました。広袴地域でも子供達に教え行動に移したい事ではないでしょうか。

広袴公園を守る会をやっていますと意見提示もよくあります。どんな小さな事でも会長山本隆治と共によく語り合います。八重桜が実現して4年の間に広袴公園内に大きな落書きが3回ありました。町田市公園緑

地課公園管理担当課長佐伯憲一氏との連携プレーで落書きを消しました。地道な活動がひいては犯罪防止に役立つ事を狙っています。

ここで新しいふるさと街づくりをみんなで目指しませんか。広袴公園やせせらぎ緑道には新しい価値創造があります。町田市の描く都市像は①人と地域が主体の街、②人が集まり豊かにすごせる魅力ある街、③活動する人が育つ街とあります。



多目的広場を見守っているシンボル!! (町田市寄贈)

私事になりますが、今回66歳で胃にガンが見つかりました。お蔭様で3カ月休み仕事とボランティア活動を再開しました。嬉しかったですね。その間町内に住む心ある方の暖かい励ましに涙しました。職場での人間関係もすばらしいですが、地域活動でめぐりあう人間の信頼の厚さに支えられてただただありがとうございます。感謝の気持ちでいっぱいです。

記念樹とシンボル植に關連して町内会とボランティア活動を想いました。牽引力はありませんが私の知っている事をお伝えするのも良い事ではないかと思いつるままに書きました。広袴から未来を担う人材が育つことを祈りながらこれからも活動を続けます。ありがとうございます。広袴の安心、安全、平和のために共に頑張りましょう。

(町内会副会長 西川 文二)

# 広袴会館関連報告

昨年9月10日に竣工式を終えた広袴会館の平成17年度の決算及び18年度の予算案は、下表の右側になります。又17年9月より18年3月迄の広袴会館の利用実績及び管理運営委員会の委員は、左下の表となります。委員の紹介が遅くなりましたが、宜しくお願い致します。

昨年来より会館運営は順調に行なわれています。広袴会館の申し込み受付は、「広袴便り」第6号でもお知らせしましたが、原則毎週日曜日午前9時より午前10時迄の間で行なっております。申し込み方法や使用料金は、以前各戸配布しました「広袴会館 案内書」をご覧ください。

会館の受付や清掃は表の管理運営委員会副委員長の上杉様以下、西川、渡辺、吉澤、吉川、森本、中田、小林、寺本、吉川、太田、駒田、松田、久保田、吉川(考)、佐々木様の委員16名を4班に分け、各班4名体制で順番に毎週日曜日の受付開始前の8時30分より清掃を約30分行ない、9時から10時迄の1時間を受付業務として運営しております。会館内の清掃はホールや2階の和室をモップ、掃除機、雑巾掛けで、又トイレは便器拭きから足場の雑巾掛けを、男性(委員は全員男性であります)4名が慣れない手付きで奮闘しております。

最後に、最近来館された方はおわかりだと思いが、会館入口の正面に歴代の町内会長の写真を掛けてあります。昭和33年の吉川胤正会長を始め、吉川和志前会長の7名分の写真が並べてあります。又会館敷地の一郭に、広袴消防後援会より記念樹が寄贈されました。(松田清真)

(平成17年度) 広袴会館 施設利用実績報告

	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	(計)
総会・役員会	1	3	3	5	2	1	3	18
部 会		3	1	2		1	1	8
組・班集会						3		3
管理委員会		1	2	1	1	1	2	8
F・T委員会						1		1
町内会(計)	1	7	6	8	3	7	6	38
広 楽 会		2	1	1	1	2	1	8
子 供 会	1	1	2	2	3	1	2	12
消防後援会								
趣味・親睦		1	3	9	3	6	7	29
教育・保育							3	3
冠 婚 葬 祭		2						2
そ の 他		1	2	2	2	5	1	13
団 体 ( 計 )	1	7	8	14	9	14	14	67
《 総 計 》	2	14	14	22	12	21	20	105

管理運営委員会委員

	氏 名	備 考
相 談 役	吉川 和志	建設委員
	森 吾一	建設委員
	星 裕子	建設委員
委 員 長	吉川 俊雄	町内会会長
副 委 員 長	上杉 孝三郎	建設委員
	西川 和保	町内会委員
庶 務	渡辺 公治	建設委員
	吉澤 一美	町内会委員
会 計	吉川 久雄	建設委員
	森本 亮平	建設委員
監 事	中田 辰英	建設委員
	小林 豊	建設/町内会委員
委 員	寺本 誠一	町内会委員
	吉川 忠作	建設委員
	太田 勝	町内会委員
	駒田 陽一	町内会委員
	松田 清貴	町内会委員
	久保田 啓臣	町内会委員
	吉川 考太郎	町内会委員
	佐々木 稔	建設委員

広袴会館 管理運営委員会 決算報告

H17年度決算報告及びH18年度予算案

H17年度決算

H18年度決算

《収入の部》

(単位:円)

(単位:円)

科 目	決算額	摘 要	予 算	摘 要
前年より繰越金	0		154,716	
会 館 使 用 料	168,200		300,000	
エアコン使用料	29,600		60,000	
会 館 助 成 金	100,000	町内会助成金	800,000	町内会助成金
雑 収 入	0	ピンク電話料金、他	1,000	
計	297,800		1,315,716	

《支出の部》

(単位:円)

(単位:円)

科 目	決算額	摘 要	予 算	摘 要
会 議 費	9,159		50,000	
備 品 費	24,187	清掃用具等	200,000	
事務用消耗品費	16,678	コピー代等	30,000	
旅 費 交 通 費	0		30,000	
電 気 代	63,865		200,000	
水 道 代	8,556		50,000	
プロパン代	0		10,000	
電 話 代	16,977		30,000	
修 繕 費	0		100,000	
一 般 消 耗 品	1,820	サニタリー用品等	20,000	
雑 費	1,842		20,000	
火 災 保 険			31,200	
予 備 費			144,516	
会館維持積立金			400,000	
次年度繰越金	154,716		0	
計	297,800		1,315,716	

平成18年4月5日  
上記の通りご報告致します。

会 計 吉川 久雄  
会 計 森本 亮平

平成18年4月5日  
監査の結果相違ないことを認めます。

監査人 中田 辰英  
監査人 小林 豊

# 広袴俳句同好会 皆さんの作品です

昨秋から始まった広袴俳句同好会は、はやくも半年余りを経過しました。まだまだ拙いものですが、快適な会館の御陰で、句会を楽しんでおります。

## 冬

亡き母の編みし手袋身にまどふ やえこ  
 初雪に踏み出す一步沈みたり なほみ  
 東シナ荒海に群るる冬かもめ きみとし  
 どんと爆ぜ泣き面の子手に団子 せいしや  
 通勤電車ボタンとれたる冬オーバー まさる

## 春

残雪を押し上ぐ枝のいのちかな けいこ  
 受験終へ遊びまくと断言す よしこ  
 豆撒きの豆エプロンを広げ受く しゅう  
 あおぎ見るしだれ桜の地をすりて ともこ  
 教会の十字架へ舞ふ花吹雪 みもの

毎月 第三木曜日 午後二時から四時  
 広袴会館で活動しています。  
 飛び入りで結構です。お出で下さるようお待ち  
 しております。

(世話人 七組 広瀬)



小林 裕子



寺本 ほなみ



阿部 美枝子

絵手紙サークル  
 皆さんの  
 作品です



湊 貴子



大嶋 洋子



北村 弥生

# 広楽会バス旅行

広楽会では去る3月15日、16日の両日に亘り2回目のバス旅行を実施しました。

目指すは富士周辺の名所と宿泊先の鐘山苑です。当日は先日までの真冬のような寒い曇った天気から一転晴れ渡る幸運に恵まれ、総勢19名、8時50分に広袴会館前に集合しました。バスの発車に先立ち西川文二さんから激励の言葉と森会長からの朝のご挨拶がありました。

バスは定刻どおり9時に出発、東名高速横浜町田インターに向かいました。お菓子や飲み物が配られ、だんだん子供の修学旅行のようなルンルン気分が変わってきました。高速に入り綾小路君麻呂の漫談がテープで流され、車内は爆笑に変わりました。

車窓は晴天で丹沢連峰が目の前に迫り、やがて進行方向に白く雪化粧した富士山が現れました。だんだん大きくなり一同を呼んでいるかのように感じられました。

最初の目的地はアサヒビール神奈川工場です。この工場は4年前に完成、最新の設備で完全自動化され衛生的に管理され、ゴミを出さない100%再処理をしているとのこと。また緑に囲まれ環境と水にも恵まれています。仕込から出荷までの工程を見学してビールをいしく飲む知恵を授かり、飲み放題の試飲があり大満足して工場を後にしました。

ビール工場の試飲等で時間を取りすぎ昼食は御殿場で2時間遅れとなり宿泊先の鐘山苑に到着したのは4

時近くでした。鐘山苑では豪華な設備と広大な庭園に感動しました。6時から最大の楽しみの宴会に入り、吉川清さんの乾杯の音頭と森会長のご挨拶で始まりま

した。挨拶では大きな思い出を残してたくさんの方々が参加したくなるような旅にしたい旨のお話がありま

した。新鮮で手の込んだ料理が手際よく出され、メニューが進むに従い、満腹感で残す料理も目立ちました。中島さんの機会操作でカラオケが始まり盛り上がりも

絶好調、曲目も「シナの夜」とか「大利根月夜」になると、さすがは歴史を感じる広楽会らしい宴会だとなり

関心しながら、吉川市郎さんの一本締めで閉会となりました。鐘山苑の夜のイベントは迫力溢れた「霊峰太鼓」です。これは太鼓を富士山に見立てて富士の雄大

さと気候変化の激しさを太鼓で表現するものです。若くてか細い女性を交えて演じる太鼓の響きが力強く、迫力満点でしばし耳と目を奪われ感動しました。

2日目は名残惜しみながらホテルを10時に出発、まずは所要時間10分程の忍野八海に立ち寄り、富士の名水で喉を清め、その次は昇仙峡です。途中河口湖を右手に見ながら風景に感動し、また雄大な富士に感動しながら一路目的地までバスタライプに満喫しました。

昇仙峡では無理をせずバスの中から溪谷と岩肌の絶景を眺め山頂のドライブインに1時に到着、ここで昼食を取りました。その後バッグや小物入れで有名な印伝工場に行き、鹿革製品の加工工程を見学、職人の技と古い技術の伝承とその価値に感動して帰路に着きま

した。さすがにこの頃には疲れも感じられバスの中では柴又の寅さんのビデオを見ながら、居眠りをしたり自由リラックスして6時に広袴会館前に全員無事到着しました。全日程を通じて皆が支えあい助け合った賜物です。委員の方々には前準備から全日程を通じお世

話いただき本当にありがとうございます。また飲み物食べ物等の差し入れをしてくださった方々、さらに西川さんには多額の寄付を頂きありがとうございます。森会長のご挨拶通り思い出多い旅、そしてまた親睦がより一層深まった旅となりました。秋の旅行が楽し

しみです。以上ご報告まで。(広楽会 田中富士雄)

広袴便りの編集にたずさわって1年がたちまして、たくさんの方に気がつきました。\*広袴には「広袴会館」があること、そこでたくさんの方が集い楽しめ

努力していること、\*広袴公園にはカワセミをはじめたくさん種類の鳥たちがやってきて子育てと成長の場となっていること、\*「ちゃんこの森」にはコジュ

ケイがいて愛嬌をふりまいていること、\*妙全院の林にはキジがいるらしいということ、\*桐光の下には湧き水があり真光寺川が流れノウサギが見られたこと

等々魅力がいっぱいのこの地ということでした。2006年度広報部には新しい力を持った皆さんを迎えました。今後の楽しい紙面を期待しましょう。(小菅盛平)

## 編集後記



印	編	廣	松	内	小
刷	集	報	田	村	暮
(株)サン・メールサービス	人	部	清	広	真
	小	長	貴	治	弓
	菅			田	西
	盛			雅	川
	平			子	文
	郎			三	二
	百			野	三
	瀬			祥	野
	千			子	祥
	弥			子	子
	子			吉	川
	梁			川	は
	瀬			は	る
	和			み	